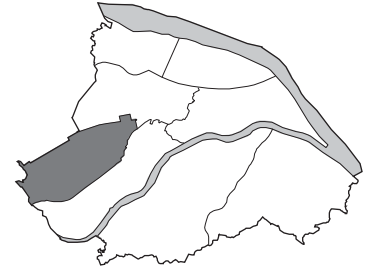


豊田駅北地域

緑の丘に産学民が共に歩むまち



現況と課題

自然

- ◆豊田駅北地域には、崖線の緑地をはじめ、数多い公園のまとまった緑や、工場や幹線道路沿いの街路樹の緑など、多様な形の緑が生活の中に溶け込んでいます。
- ◆今ある緑を守り、育み、身近に楽しむことができる環境づくりが求められています。
- ◆また、西平山地区には多くの農地が残されています。
- ◆市街地の中における農地のあり方を考えながら、農あるまちを守っていかねばなりません。

まち

- ◆豊田駅北地域には、多摩平団地をはじめ、緑豊かで街並みが整っている住宅地がたくさんあります。
- ◆一方で、企業や大学などがあり、住宅地と混在している地区もあります。
- ◆美しい街並みを守り育てるために、住民だけでなく企業・大学などと共に、生活環境を守るための仕組みやルールをつくっていかねばなりません。
- ◆また、いつでも安心して暮らせるように、防犯防災組織や設備の充実も求められています。

豊田駅

- ◆豊田駅前のロータリーは狭く、一般車のための駐停車スペースが確保されていません。
- ◆また、駅周辺の歩道には放置自転車がが多く、歩行者が通行しにくくなっています。
- ◆駅前通り商店街には空き店舗があり、老朽化したアーケードなど、暗い雰囲気があります。
- ◆駅を利用する多様な立場の人たちが、お互いの存在を認めあい、誰もが快適に利用できる駅周辺の整備が求められています。

ハンディ
キャップ

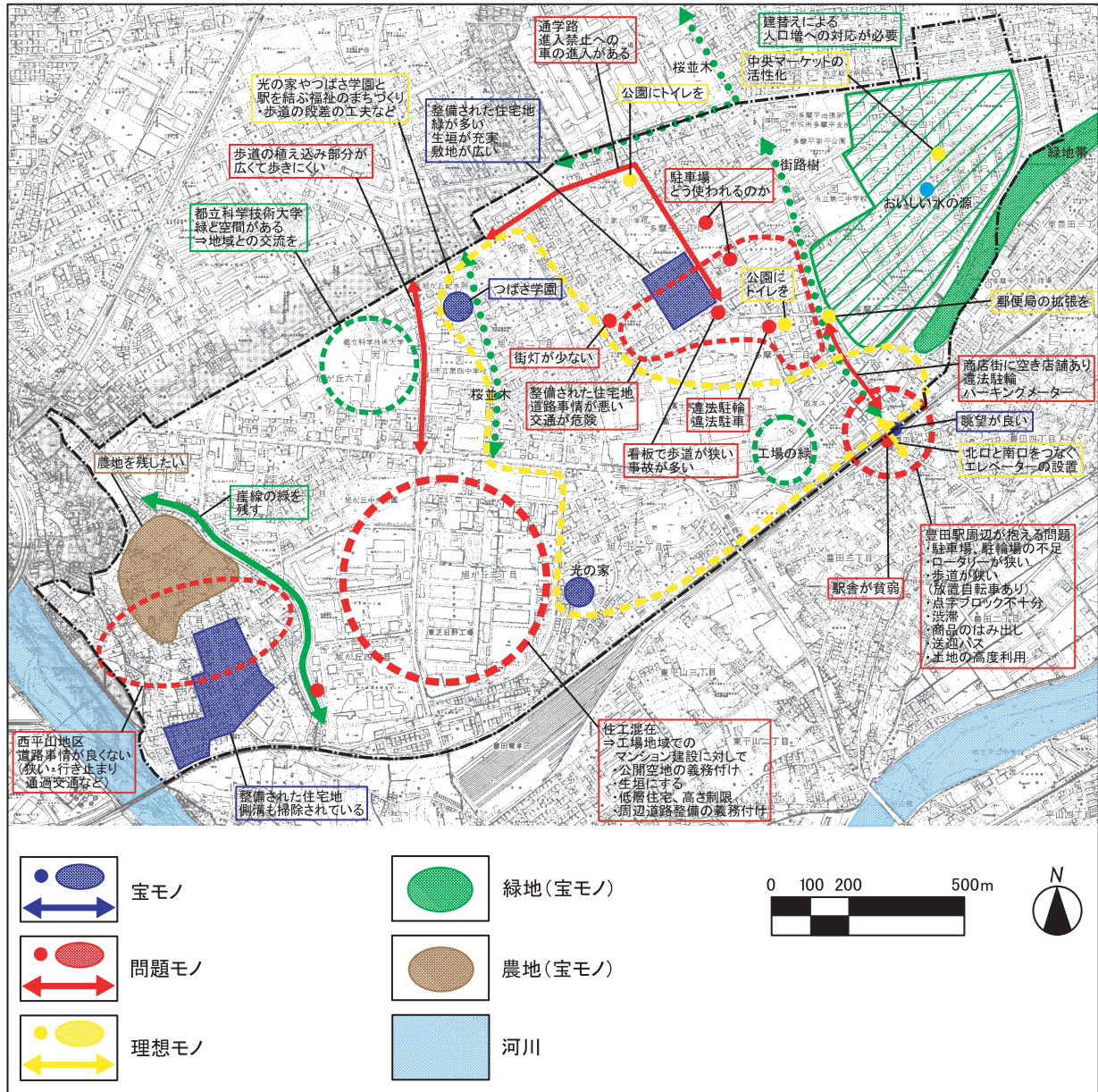
- ◆豊田駅北地域には、「光の家」「つばさ学園」等の福祉施設や市立総合病院等の医療施設があります。
- ◆歩道にある小さな段差でも高齢者や障害者等にとっては危険であり、ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりが必要です。
- ◆また、年をとっても住み続けられるような環境づくりも求められています。

伝承

- ◆過去の歴史的遺産だけでなく、地域のさまざまな資源を発掘し、地域の新しい文化や歴史として育てあげていくことが求められています。



【現況課題図～地域住民によるさまざまな情報】



暮らし方の目標

多様な形でまちの中の緑に関わりながら
豊かな自然を育み楽しむ暮らし

- 豊田駅北地域には、崖線の緑をはじめ、数多い公園のまとまった緑や、工場や幹線道路沿いの街路樹の緑など、多様な形の緑が生活の中に溶け込んでいます。また、西平山地区には、多くの農地が残されています。
- 今ある緑を大切に守り育て、居心地の良い空間を適切に配置することによって、豊かな自然を身近に楽しむことのできる暮らしを目指します。
- また、市民農園や直売所等の整備により、農地を残すだけでなく、まちの中で農に関われる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針 ■

■ プロジェクト ■

工場や幹線道路沿いの緑を育て、街路樹が創り出す緑の帯を大切に守ろう

【緑のネットワーク化プロジェクト】

- ・ 幹線道路の緑化
- ・ 工場の塀のセットバックと緑化
- ・ 沿道住宅の緑化推進（生け垣等設置に関する補助金交付要綱の活用）
- ・ 科学技術大学の緑と空間の保全
- ・ 通行量の変化にあわせた一方通行化・歩道の拡幅と植樹帯の整備
- ・ 地域住民やボランティアによる草取り
- ・ 緑を大切にする意識の向上

公園のまとまった緑を大切にし、人も鳥も共存できる公園をつくろう

【鳥と共存できる公園づくりプロジェクト】

- ・ 市立病院と隣接している多摩平第1公園のバリアフリー化など公園機能の見直し
- ・ 地域住民や専門家の意見を取り入れた公園のリニューアル
- ・ 地域住民の協力と工夫による生き物が棲みやすい公園づくり
- ・ 野鳥や木々の説明板の設置

休憩の施設を備えた居心地の良い小さな空間を適切に配置しよう

【憩いの場づくりプロジェクト】

- ・ 公共所有地や建物の有効活用（旭ヶ丘2丁目高压線下・施設の開放検討）
- ・ 公園におけるトイレ整備の検討
- ・ ダストボックス撤去跡へのベンチの設置
- ・ 大規模開発の際のオープンスペース確保の義務づけなど憩いの場の提供を促す制度づくり（日野市版総合設計制度の創設・まちづくり条例の検討）

崖線の緑や貴重な清流、地域に棲む生き物を保全しよう

【自然保全プロジェクト】

- ・ 緑地と湧水の保全（都市公園法や都市緑地保全法、都条例などの法制等の活用）
- ・ 生き物を保全の対象として指定
- ・ ゴミ捨て禁止の推進（ポイ捨て条例の推進）
- ・ 地域住民・企業・行政の協力によるルールづくりと役割分担の検討
- ・ 剪定や草刈りの技術を学ぶ場づくり
- ・ 自然体験学習や教育の機会づくり

市街地にある貴重な農地を残しながら、農に親しもう

【農のあるまちプロジェクト】

- ・ 生産緑地の保全
- ・ 市民農園の整備
- ・ 生産者の顔が見える販売契約の促進
- ・ コンビニ等での販売の推進
- ・ 都市における農地の役割や在り方について考える場づくり

暮らし方の目標

基盤が整った市街地で潤いのある街並みを育み、
アメニティを向上させる暮らし

- 豊田駅北地域には、多摩平団地のように、緑が豊かで街並みの整っている住宅地がたくさんあります。また、一方で、企業や大学などがあり、住宅地と混在している地区があります。
- 地区計画やまちづくり条例等によって街並みを守り育てるだけでなく、企業や大学と協働してまちづくりを進めていく環境を整えることによって、潤いのある街並みを育みながらアメニティを向上させる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針 ■

周囲と調和した景観のあり方を考え、美しい街並みと緑豊かな住環境を守り育てよう

住民・企業・大学など多様な主体がともに認めあい、共生できるまちづくりを進めていこう

いつでも健康で、安全・安心に生活することのできるまちづくりを進めよう

■ プロジェクト ■

【街並み保全プロジェクト】

- ・ 低層住宅地周辺における高層住宅の建設及び整った景観と良好な環境を保全するためのルールづくり（地区計画制度の活用やまちづくり条例の検討など）
- ・ 多摩平の建替えに際して、並木等を保全する働きかけ
- ・ 街並みに寄与する住宅コンクールの開催と表彰
- ・ 市のシンボルマークの普及

【パートナーシップによるまちづくりプロジェクト】

- ・ 企業、商業者、大学、地域住民の協働によるまちづくりを進める機会づくり
- ・ 地域住民による市内企業に対する支援
- ・ まちづくり協議会の促進

【安心して住めるまちプロジェクト】

- ・ おいしく安全な水を飲むために必要に応じた東京都への働きかけ
- ・ 防犯防災組織・設備の充実

暮らし方の目標

利便・快適性を備えた、豊田駅周辺を自慢できる暮らし

- JR豊田駅前のロータリーは狭く、一般車のための駐停車スペースが確保されていません。また、駅周辺の歩道には放置自転車が多く、歩きにくくなっています。
- 駅を利用する多様な立場の人々が利用しやすいと感じられるように、駅ロータリーのあり方の再検討や駅周辺の歩道環境の整備を進めることによって、利便性を備えた豊田駅を利用できる暮らしを目指します。
- また、緑を増やしたり、公共公益施設や交流拠点の整備を進めることにより、環境の整った駅周辺を利用できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針 ■

駅前に集まる企業・商業者・地域住民や、バスやタクシー・自家用車・歩行者など多様な立場の人たちがともに認めあい、交流し、元気が出るような駅前をつくっていこう

■ プロジェクト ■

【使いやすい駅づくりプロジェクト】

- ・ 豊田駅前の行政サービス機能の充実
- ・ バスロータリーの移設（多摩平団地側）
- ・ パーキングメーターの撤去
- ・ 工場等への通勤者に配慮した駅周辺整備（工場までの通勤路の歩道拡幅など）
- ・ 駅周辺部に一時停車スペースの設置
- ・ 駅近くに障害者用乗降場（車寄せ）・障害者用停車ゾーンの確保
- ・ 駅周辺の駐輪場の整備
- ・ 駅周辺道路の一方通行化

【安心して歩ける駅づくりプロジェクト】

- ・ 歩道の整備
- ・ 側溝上部を利用し、歩道を拡幅する
- ・ 歩道部分の駐輪スペースの撤去
- ・ 豊田駅南口と北口をつなぐ南北自由通路の利便性の向上（エスカレーターの設置等）
- ・ 道路上障害物を指摘するボランティア制度の制定

多摩平団地の建替え等を契機としたまちづくりを考えよう

【もてなしの空間づくりプロジェクト】

- ・ 緑に囲まれたもてなしの空間づくり
- ・ 駅周辺の公共公益施設の整備
- ・ 多摩平団地建替えに伴う公共公益施設の整備（地域交流拠点の整備と活用）
- ・ 街灯のデザインの検討と整備
- ・ 看板類の規制
- ・ 駅周辺の在り方を考える場づくり

暮らし方の目標

誰もが安心して毎日の生活を送れて、自由に外出を楽しめる暮らし

- 豊田駅北地域には、「光の家」「つばき学園」等の福祉施設や市立病院等の医療施設があります。
- ユニバーサルデザインの視点で安心して歩ける道路整備を進め、介護サービス等を充実することによって、誰もが安心して毎日の生活を送れる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針 ■

すべての人にやさしいまちづくりを進めよう

地域の人たちが年をとっても、住み続けられる住環境をつくっていこう

■ プロジェクト ■

【すべての人にやさしいまちづくりプロジェクト】

- ・安心して歩ける都市計画道路等の整備（バリアフリー化：歩車道の段差の解消・歩道の粗面への改良・電柱等の地中化・弱者優先部分の設置・カラー舗装・電子誘導設備埋め込みなど）
- ・福祉施設や市立病院と豊田駅を結ぶ「特定経路」の指定
- ・介護サービスの充実
- ・運動公園や公園の整備内容の見直し
- ・障害者等への聞き取り調査によるニーズの把握

【住み続けられるまちづくりプロジェクト】

- ・日3・4・25号線の整備及びそれに伴う交通体系の見直し（生活道路での車の交通規制など）
- ・日3・4・24号線の整備促進
- ・富士電機前の歩道の拡幅の検討
- ・歩きやすい歩行空間の確保（都立科学技術大学前の歩道）
- ・駅前への交番設置の検討
- ・住宅地内への街灯の設置
- ・緊急車両やミニバス運行のための狭あい道路や行き止まり道路の解消（西平山地区）
- ・旭ヶ丘6丁目地区のバス路線の整備
- ・西部地域の拠点づくり（仮称）西豊田駅の誘致

暮らし方の目標

埋もれた文化・歴史を掘り起こしつつ新しい文化・歴史を刻む暮らし

- 豊田駅北地域には、特に歴史的遺産等はありませんが、今ある地域の様々な資源を発掘し、地域の新しい文化・歴史として育てていくことはできます。
- 地域のお祭りやフリーマーケット等を定期的に行うなどの動きによって、地域の新しい文化・歴史を刻んでいけるような暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針 ■

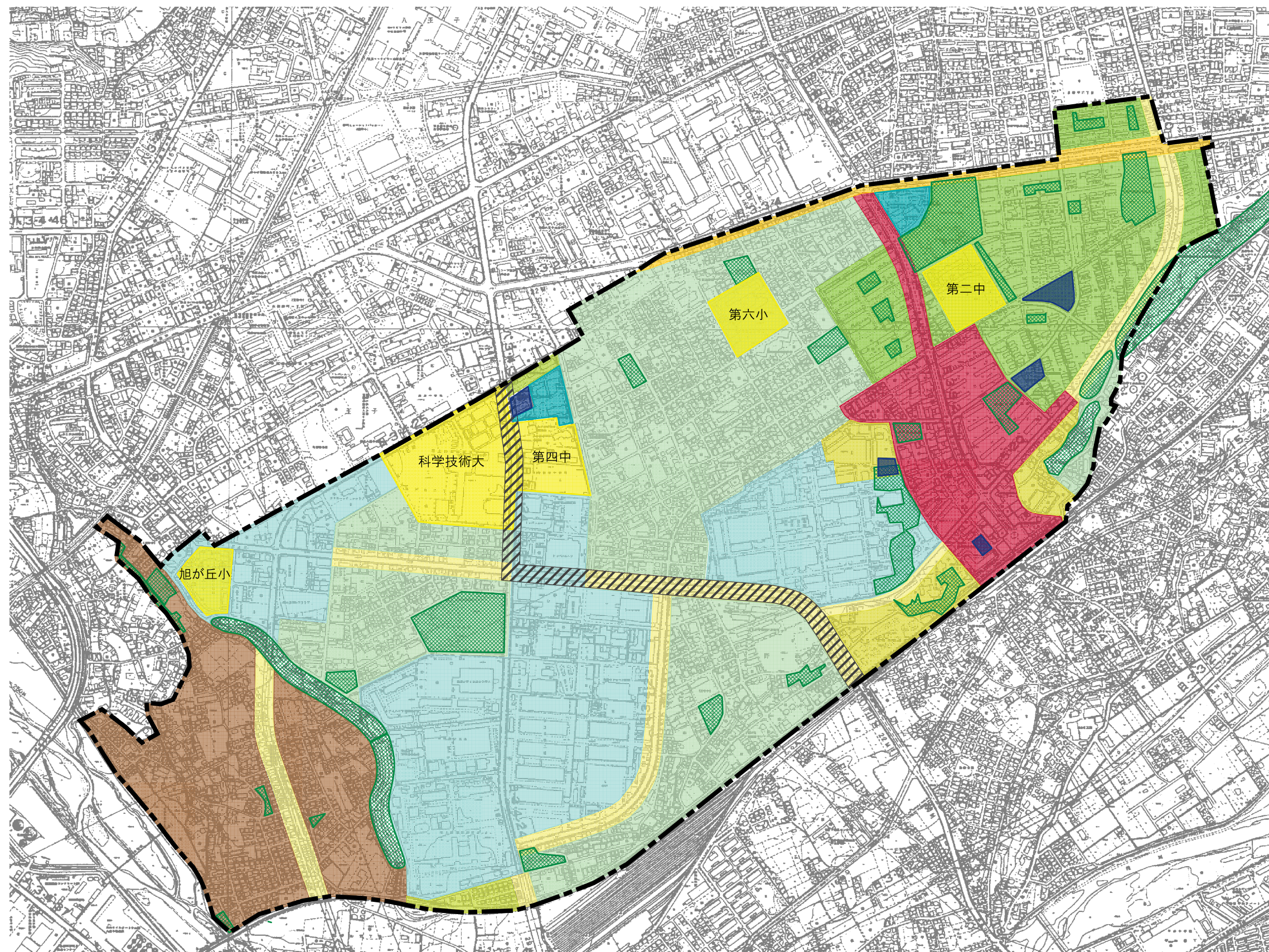
文化・歴史・自然環境・行事（お祭り、リサイクル活動）を発掘し、新たな歴史に育てあげよう

■ プロジェクト ■

【歴史の発掘プロジェクト】

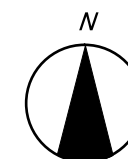
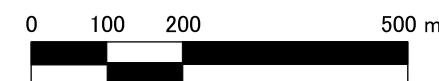
- ・地域の歴史をPRする場づくり
- ・お祭り・フリーマーケット等の定期的な開催

豊田駅北 地域
土地利用構想図

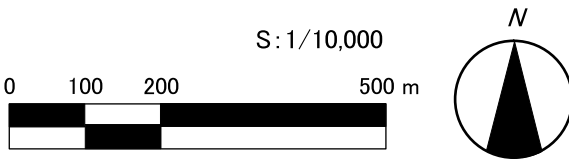
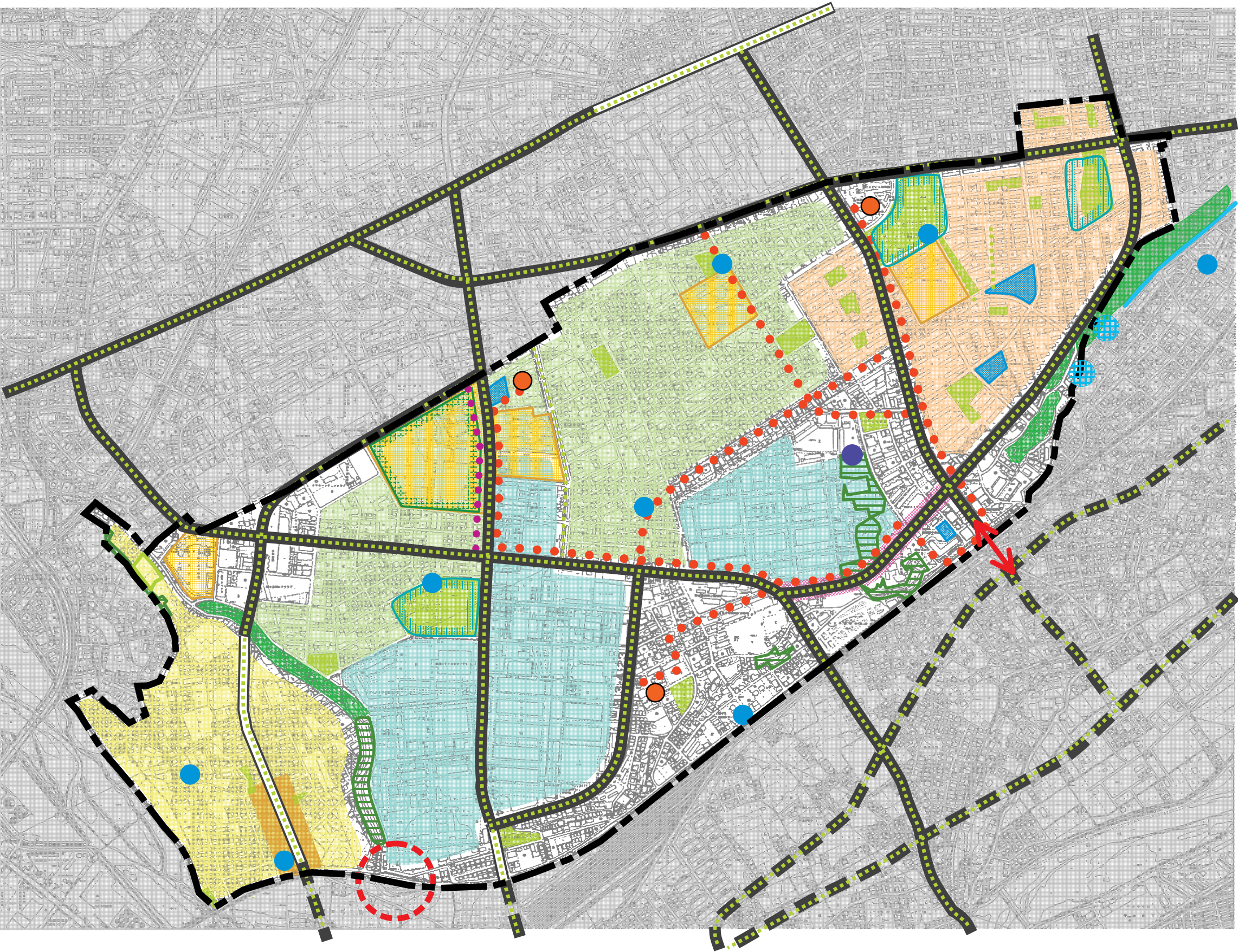


-  身近にある農地を活かしながら低層の住環境をつくっていこう
 -  周辺の大学・企業や農地と共存した緑豊かでまち並みの整った低層の住環境をつくっていこう
 -  駅近くの利便性を享受できる低・中層の住環境をつくっていこう
 -  多摩平の豊かな緑を守り、崖線の緑と調和した環境共生型の住宅団地をつくっていこう
 -  車利用の利便性を享受できるまち並みの整った低・中層の住環境をつくっていこう
 -  身近で買い物ができそうな利便性の高い中層の住環境をつくっていこう
 -  多摩丘陵のスカイラインを望み、様々な人が住み・働き・憩う、出会いと交流のある駅前空間をつくっていこう
 -  周辺の良好な住環境に調和するよう日野の産業を支える工場を育んでいこう
 -  地域に開かれた福祉・医療施設をつくっていこう
 -  誰もが、いつでも利用できそうな公共施設にしていこう
 -  地域に開かれた学校をつくっていこう
 -  公園・緑地
 -  日野環状線

S: 1/10,000



豊田駅北 地域 主要プロジェクト図



【緑のネットワーク化】

- 幹線道路等の緑化
- 都立科学技術大学の緑の保全

【鳥と共存できる公園づくり】

- 生き物がすみやすい公園づくりとリニューアル
- 公園整備（整備済／未整備）

【憩いの場づくり】

- 交流拠点の整備
- 学校・大学の活用（余裕教室の活用等）
- 公共公益施設（●は地区センター）の活用（施設の開放等）

【自然保全】

- 带状につながる崖線の緑の保全
- 条例等による緑地
- 湧水の保全
- 黒川清流公園

【街並み保全】

- 良好な街並みを保全するためのルールづくり

【パートナーシップによるまちづくり】

- 日野の産業を支えてきた工場の操業環境の維持

【安心して歩ける駅づくり】

- 駅南北の一体化（自由通路等）

【もてなしの空間づくり】

- ユニバーサルデザインのまちづくり・バリアフリー・電線類の地中化

【弱者にやさしいまちづくり】

- 福祉施設・市立病院と駅とを結ぶ誰もが安心して歩ける道路の整備
- 福祉施設・市立病院
- 幹線道路の整備とバリアフリー化（完了／事業中／既成・未着手）

【住み続けられるまちづくり】

- 農と住との共存を図り基盤整備をすすめる
- 西部地域の拠点づくり（仮称）西豊田駅の誘致
- 歩きやすい歩行空間の確保
- 歩道拡幅の検討
- 立体交差に伴う拡幅の検討（日3・4・25号線）